



令和5年度 南筑後地域未来の地域リーダー 育成プログラム

活動報告書



主催：南筑後地域未来の地域リーダー育成プログラム推進委員会
後援：福岡県教育委員会

南筑後地域未来の地域リーダー育成プログラムとは

南筑後地域（大牟田市、柳川市、八女市、大川市、みやま市、大木町）在住の中学生を対象に、将来、様々な分野で活躍する「リーダー」を育成するためのプログラムです。今回が南筑後地域で初めての開催となります。

参加生徒は地域に縁のある著名人等による講義や体験活動、他の中学校の生徒とのグループワークを通じて、志を高め合いながらリーダーとなるための心構えを学びました。最終日には、グループ発表・個人の目標宣言を行い、3日間を通しての学びを振り返りました。

実施概要

○主催

南筑後地域未来の地域リーダー育成プログラム推進委員会

（大牟田市、大牟田市教育委員会、柳川市、柳川市教育委員会、八女市、八女市教育委員会、大川市、大川市教育委員会、みやま市、みやま市教育委員会、大木町、大木町教育委員会、福岡県）

○後援

福岡県教育委員会

○開催日程と会場

令和5年8月1日（火） 日帰り
大川市ふれあいの家 ほか

令和5年8月11日（金）～12日（土） 1泊2日^{（※）}
おおむたハイツ ほか

※当初は3泊4日の予定だったが、台風の影響により、8月9日（水）～10日（木）は中止

○参加者

・南筑後地域在住（大牟田市、柳川市、八女市、大川市、みやま市、大木町）の中学1～3年生45人

・内訳

大牟田市17人、柳川市10人、八女市9人、大川市3人、みやま市4人、大木町2人

○参加費

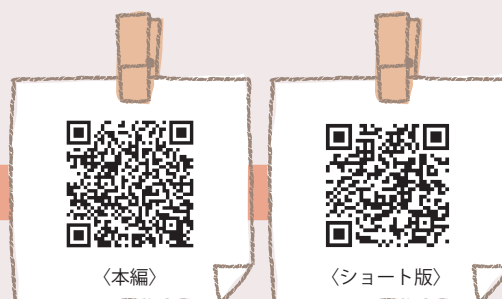
無料

○募集期間

令和5年6月1日（木）～7月3日（月）

▶ ○活動報告動画

実施内容を動画にまとめました。
ぜひご覧ください。



講師・コーディネーターの紹介

※所属はプログラム時点のもの

講師

仁田原 進一氏 (仁田原建具製作所 代表)

福岡県大川市出身。1996年一級木製建具技能士取得・2020年大川の匠の認定。高校卒業後先代(父・現代の名工)や恩師から伝統技術を引き継ぎ

組子細工の光と影の美しさ・様々な形で表現される面白さ等を木の素材を生かし伝統ある技術や心を伝えたい思いで物づくりに挑戦している。



講師

北川 智子氏 (歴史学者 宇宙教育)

歴史学者。宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙教育センター、センター長。福岡県大牟田市出身。ブリティッシュコロンビア大学大学院で数学と生命科学を学び、プリンストン大学で歴史学の博士号を取得。ハーバード大学で日本史を教え、3年連続でティーチングアワード受賞。グローバルヒストリーの研究者として、英国、米国、ドイツ、南アフリカ

の大学や研究所で世界の数学史研究に従事した。2023年8月に英語での共著『The Secret Lives of Numbers: A Global History of Mathematics & its Unsung Trailblazers』を出版する。日本語の著書に『ハーバード白熱日本史教室』、『ケンブリッジ数学史探偵』、『異国のヴィジョン』、『世界基準で夢をかなえる私の勉強法』などがある。



講師

渡邊 令氏 (株式会社うなぎの寝床 プロジェクトマネージャー)

1989年東京都生まれ、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)社会人類学部卒業。その後福岡のポンプ会社で社長秘書を勤めた後、2015年7月に株式会社うなぎの寝床入社。高校はカナダ、世界中の国から様々な人種の人が集まり2年間共同生活をするという特殊な学校、大学は

イギリス。海外での経験を活かし、地方における、日本における本質的な魅力とは何かを考え探り続ける。リサーチして発信・翻訳する役割。2020年からは(株)UNAラボラトリーズにて、ツーリズムと体験プログラムの企画・ガイドも務める。



このほか4つの講義や体験活動を予定していたが、台風の影響により中止になった。

講師 **堤 大陸氏** (株式会社スペースシフト開発エンジニア) 【柳川市】

講師 **aurea内に事務所のある企業** 【大牟田市】

講師 **松藤 富士子氏** (株式会社ピストロくるるん 代表取締役) 【大木町】

講師 **小田 憲和氏** (映画監督 映像作家) 【みやま市】

コーディネーター

深山 翔平氏 (一般社団法人TJC教育サポート 理事長)

福岡県久留米市出身。教育学、特別支援教育を専攻。世界一周、小学校教員を経て、子ども・保護者・企業を「教育の力」でサポートし、全ての人がよりよい人間関係をつくり、よりよく過ごすことが出来るように、2019年に一般社団法人TJC教育サポートを創設。子どもたちには自然体験キャンプやマネーキャンプなど様々なコンセプトの体験活動を提供。

オンラインでは子ども向けにリーダーシップ教育や目標達成メソッドを教える講座だけでなく、保護者向けの自立教育プログラム「家庭教育の学校」を主宰し、全国から100名以上の参加者が集まっている。また、企業向けの人財コンサルタントとしても研修・コンサルティングを行い、社員が自ら動く「自立型組織」の構築に多数貢献している。



コーディネーター

山下 徹朗氏 (一般社団法人TJC教育サポート 理事)

福岡教育大学卒。小学校教員、全国小学校理科教育研究会にて実践発表、日本一周を経て、一般社団法人TJC教育サポートの理事に就任。子どもから大

人、学校から地域、社会へ教育者として多岐に貢献している。



活動内容

第1日目：令和5年8月1日（火）

参加生徒はこれから始まるプログラムに対する期待と不安が入り混じったような表情で、大川市ふれあいの家に集合しました。

はじめに開講式を行い、南筑後地域未来の地域リーダー育成プログラム推進委員会の左藤会長（県青少年育成課長）や福岡県の服部知事（ビデオメッセージ）から参加生徒に激励の言葉をかけていただいた後、開催地となった大川市の倉重市長から、参加生徒を歓迎する挨拶をいただきました。続けて、大川市の生徒が代表としてプログラムを通して成長したいことなどの意気込みを宣言して、開講式を終えました。

午前は、コーディネーター主導の下、（グループワークや最終日の発表を行う）6班に分かれて、オリエンテーションを行いました。アイスブレイクとして、参加生徒がお互いを知るためのゲームをしたり、自分が呼ばれたいニックネームを伝えたりして少しずつ仲を深めている様子でした。昼食をとった後は、バスで仁田原建具製作所へ移動して、体験活動を行いました。代表の仁田原進一様をはじめ製作所の皆様から丁寧に教えていただきながら、日本の伝統技術である組子を用いて、コースターを製作しました。

製作後には、仁田原進一様から「変わらぬ技と伝統の継承」をテーマに講話いただきました。講話を通して、参加生徒は、この伝統技術が自分たちの住む地域の誇りであると感じ、どのように周囲の人に知ってもらえるか考えていました。また、伝統を継承することの大変さや一つのこと集中して地道に取り組むことの大切さを学びました。

夕方は大川市ふれあいの家へ戻り、グループワークを行いました。南筑後地域の未来のために自分たちには何ができるのかを考えるため、まずは地域の特徴や課題などを意見交換しました。さらに、個人として今後どのように成長したいか考えるために、自分の強みや弱みについて話し合いました。



第2日目：令和5年8月11日（金）

参加生徒は1泊2日分の荷物を持っておおむたハイツに集合しました。参加生徒は、台風で一部中止になったことを残念がる様子も見られましたが、皆が集まるにつれて、元気な姿で再会を喜んでいました。

午前は、講師の北川智子様から「虹の方程式：世界とあなたを繋ぐ鍵」をテーマに、ワークショップを交えながら講義をしていただきました。JAXAでの活動の紹介や世界各地を巡り、世界の歴史を英語で共著し出版したことなどのお話に加え、宇宙の可能性や今後の生き方などをお話いただき、参加生徒は将来のことを考える機会になったと思います。

ワークショップでは、模造紙を使いながら、自由な発想で宇宙や地球について話し合いました。北川様から参加生徒へ気さくに語りかけながら、さまざまなフィードバックをいただき、大変貴重な時間になりました。

昼食後、バスで八女市へ移動して、「株式会社うなぎの寝床」の2店舗を見学しました。講師の渡邊令様や店舗の皆様にご案内いただきながら、販売している商品の製法やこだわり、背景にある物語をお話いただきました。参加生徒は、これまであまり馴染みのなかった商品を興味深そうに眺めていました。



見学を終え、市民会館「おりなす八女」へ移動して、渡邊様から「地域文化を残したい！ものづくりから見える、豊かな地域資源」をテーマに、講義をしていただきました。うなぎの寝床が地域のために行うさまざまな取り組みのお話から、地域文化商社として担っている役割や豊かな地域資源の価値などについて学びました。

夕方におおむたハイツへ戻り、個人ワークやグループワークを行いました。翌日に発表を控える中、これまでのプログラムを通して得た学びを振り返り、地域の未来に向けて自分に何ができるのか考えながら、それを言語化して模造紙にまとめました。同時に、自分が思い描く「リーダー像」を班で共有しながら、今後の目標を考えていました。



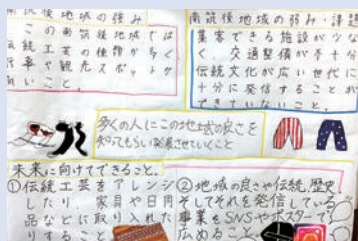
第3日目：令和5年8月12日（土）

朝7時から朝食をとり身支度を終えた後、バスでおおむたハイツから大牟田市の施設「えるる」へ移動しました。到着後、班ごとに分かれてグループ発表や目標宣言に向けた最終準備を進めました。リハーサルとして、実際に発表会場に立ち、皆さんに見られることを想像しながら発表の練習をする時間もとりました。参加生徒たちは、緊張している様子も見られましたが、お互いに鼓舞しながら、何度も話す内容を声に出して確かめ、改善点を見つけていました。学生のスタッフや市町職員の皆さんから助言をもらっている参加生徒もいました。

昼食を終え、保護者や関係者が見学する中、いよいよ発表の時間になりました。南筑後地域の未来をテーマにしたグループ発表では、中学生ならではの発想で、地域の良さや伝統を広めていくための伝統ツアーの実施や新たな工芸品の開発、情報発信の工夫などの提案がありました。目標宣言では、「視野を広げて、さまざまな視点を持つようにする」、「自分の興味のあることにチャレンジしていく」など一人ひとりが力強く語ってくれました。

発表を受け、アドバイザーである南筑後教育事務所の原田主任社会教育主事から、発表内容や参加生徒の成長の様子などに関して講評をいただき、各自が改めて3日間で学んだことや発表内容を振り返ることができました。見学にこられた皆さんから発表内容に関して質問や意見をいただく時間もありましたが、参加生徒は自分たちの言葉ではっきり考えを伝えていました。

無事に発表を終え安心した表情がみられる中、最後に閉講式を行いました。南筑後地域未来の地域リーダー育成プログラム推進委員会の高井良副会長（大牟田市副市長）から参加生徒へ修了証書が授与された後、開催地となった大牟田市の関市長から、発表を終えた参加生徒をねぎらう挨拶をいただきました。閉講式終了後、参加生徒は「また休みの日に遊ぼうね」「一緒に参加できて良かった」「これからもお互い頑張ろう」など声をかけあい、別れを惜しみながら解散しました。プログラムの学びを通して、考え方や価値観や中学校が異なる生徒たちが未来の地域リーダーとなっていくキッカケを作ることができた3日間になりました。



アンケート結果

参加生徒がプログラムを通してどのような点を向上させることができたか把握するため、以下のとおりアンケートを実施しました。

▶ 成果確認シート

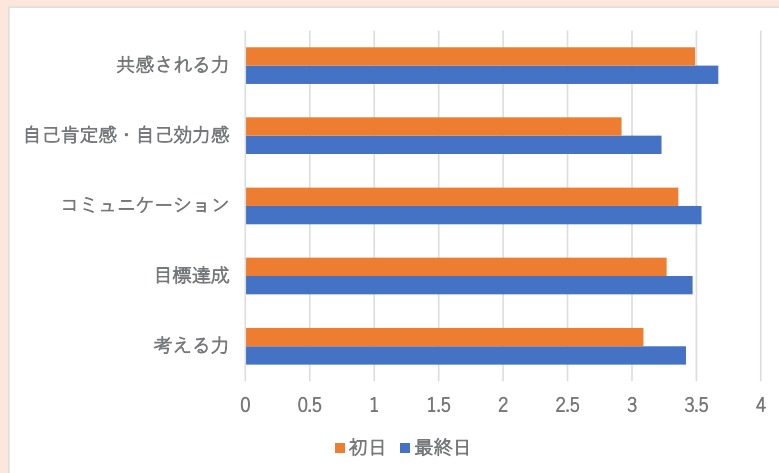
<実施方法>

- ・プログラム初日と最終日に、同様の質問に回答してもらった
- ・5項目（共感される力、自己肯定感・自己効力感、コミュニケーション、目標達成、考える力）について、参加前後で向上するかどうかを調べた
- ・1つの項目に対し4つの質問で構成し、1～4の4段階で評価（4が最高評価）
- ・質問例

共感される力	何かしてもらったらすぐに「ありがとう」と感謝の言葉を伝える
自己肯定感・自己効力感	自分の長所や強みについてよくわかっている
コミュニケーション	話を聞くときは、目を見て聞き、意識してうなずいて聞いている
目標達成	自分では難しいことは、積極的に誰かに頼ることができる
考える力	新しい企画やアイデアを生み出すことが好きだ

<結果>

共感される力	自己肯定感 自己効力感	コミュニケーション	目標達成	考える力
3.49 → 3.67 (+0.18)	2.92 → 3.23 (+0.31)	3.36 → 3.54 (+0.18)	3.27 → 3.47 (+0.20)	3.09 → 3.42 (+0.33)



▶ 今後の行動について

たくさんの方に興味を持って、伝統工芸や伝統に触れたいです。

学校でリーダーシップを発揮したいです。

まずは、自分から話してみることを心がけ、全員が話し合いに参加できるような話の振り方をしたいです。

生徒全員に信頼してもらえる人になるために、広い視野で周りのことを考えたいです。

授業中など、積極的に発表していきます。また、相手の目を見てうなずきながら話を聞くようにします。

親や友達などに話して文化を広めていきます。

不安なことでも積極的に取り組みます。

弱みを強みに変える方法を考えて行動していきます。難しいことにもまずは挑戦し、具体的に目標を立てて行動したいです。

やるか悩んだら難しい方を選ぶようにします。

人に向けて話す時は相手の目を見て、はきはき話すようにします。誰かに指示を出す時は簡易に言うようにします。



感想

今回、このプログラムに参加したことで、グループで話し合いをするときの発言に自信が持てるようになりました。これからの学校生活に活かして目標に向けてがんばりたいです。

北川先生の話で、何かをきっかけに最後まで努力をすること、好きなことを頑張ることの大切さを学びました。皆とは初対面で緊張したけど、仲良くなることができ本当に良かったです。

友達との関わり方、意見を持ち発信する力など、様々な分野で自分のリーダー力を育むことができました。友達ともたくさん助け合いをすることができました。

まだまだ自分の地域でも知らないことがたくさんあることに驚きました。正直、知らない人たちばかりで、不安しかなかったけれど色々な人との会話を通して最終的には楽しく終わることができました。これから未来のリーダーになるために頑張ります。

プログラムを通して、伝統工芸品を知っただけでなく、人生にプラスアルファできたので他のみんなに伝えたいです。

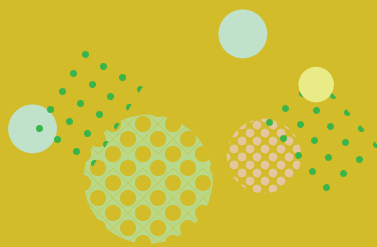
本当に良い体験ができたと思います。3日間と少し短い時間でしたが、たくさんの講師の先生方の話を聞くことができ、たくさん学ぶことができました。また、とても良い仲間と出会うことができ楽しかったです。

みんなで盛りあがったグループワークがめっちゃ楽しかったです！初対面の人がほとんどだったけど、最初のオリエンテーションで、かなり緊張がほぐれてよかったです。

普段なかなか聞けないお話を聞けてためになりました。このプログラムに参加しなければ久留米餅どころかもんぺすら知らなかったと思います。貴重な体験をありがとうございました。

今回のプログラムでリーダーではない時のリーダーを支える動きを学ぶことができました。いつもは生徒会に入っていて常にリーダーである人の視点からしか皆を見ることができていないけれどこのプログラムではリーダーを支える場面がたくさんあり、リーダーを支えるフォロワーがとても大切だと知ることができました。





問い合わせ先

福岡県青少年育成課

Mail : ikusei02@pref.fukuoka.lg.jp

発行 令和6年（2024年）3月